

項目	内容
子どもの実態と教材を考えた(製作した)利用	・初めて水遊びを経験することから、水遊びの雰囲気になれない子どももいる。プールの中に入る以前にプールの周りで水に慣れ、直接体験しながらさまざまな思いを感じて欲しいと考えた。
ねらい(子どもの何を育てたいか)	・水の感触を味わったり面白さを感じたりする。
効果的と思われる導入方法(提示の仕方)	・保育者が普通のホースから水を流し、ホースの口から流れ出る水に触れて遊ぶ。しばらく遊んだ後、教材用の穴のあいたホースを設定する。
予想される乳幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホースの穴から水が噴水のように出ることから、出た水を手で触ったりつかもうとしたりする。</li> <li>・水の出る場所を手でふさごうとする。</li> <li>・水がかかりそうになると目をつぶる。</li> <li>・水が出ているのを不思議そうにじっと見る。</li> </ul> 
教材を使用する時の配慮・援助・遊ぶ時のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホースを囲むように座らせてあげ、誰でも直接水に触れられるようにする。</li> <li>・保育者も一緒に水に触れながら「お水が出ていたね、面白いね」などと声をかけ安心感をもたせる。</li> <li>・子どもたちの表情を見ながら思いを汲み取り、共感しながらことばで表現していく。</li> </ul> 
環境の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベランダで座って遊べるように広いスペースを確保する。</li> <li>・水が勢いよく顔にかからないように、水量を調節する。</li> </ul>
遊んでみてどうだったか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホースを持ち上げ、用具を確かめていた。</li> <li>・穴から水が出ると声を出して喜び、水に手をかざしたり水を切るようにして触っていた。</li> <li>・水が出る小さな穴を指でふさいでいた。</li> <li>・水をすくうようにして出ている箇所を手をもっていていた。(1歳児)</li> <li>・噴水のように出た水が顔にかかると喜んでいた。</li> </ul> 
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の動きが分かりやすいようにしてはどうか。色水を使うと水の動きがわかりやすいように思うが、水に触れるので危険である。</li> <li>・水の流れる様子が分かるようにホースを透明にしたが、ホースそのものが分かりづらい点がある。ホースに装飾をしてもよかったのではないか。</li> </ul>
何を楽しんでいたか(水とのかかわりを通して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が飛び出る様子を見て楽しむ。</li> <li>・水の感触や冷たさを感じて楽しむ。</li> </ul>

### みどころ 注目して頂きたい点や事例の特徴を財団がまとめました。

触っても安全で、かかっても0歳児が喜べるような噴水状に水が出る教材なので、安心して一人ひとりの子どもなりにかかわりを楽しめる教材です。水が流れたり噴水のように噴き出したりする様子に興味をもち、0歳児なりに手を伸ばして自分から触ったり体や顔にかかることを喜んだりするなど、ねらいに迫る姿が見られます。水の感触や特性を感じて自分なりにいろいろなかかわり方をして水に親しむことができました。